

図書だより 第6号

令和7年10月22日 発行
兵庫県立飾磨工業高等学校 全日制 図書部

体育大会も終わり、すっかり秋らしくなりました。播磨地方の秋はあちらこちらで盛大に秋祭りが行われます。皆さんの中にも祭りに参加し神輿を担いで盛り上がった人もたくさんいるでしょう。この後は10月31日、11月1日に実施される飾工祭があります。まだまだお祭り気分が続きそうですが、せっかく涼しく過ごしやすい気候になったので、ゆっくり静かに読書をしてみたいはいかがでしょうか？



AIの話・・・

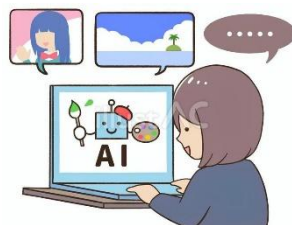
先日、あるTV番組で芸人や俳優やアイドルなど6人のレギュラーメンバーとゲスト2人が高級料理店のメニューを見ながら何品か料理を注文し、自分の注文した料理の金額を予想して最初に設定された金額に誰が一番近いかを競っていました。その日の内容は、AIを使うと勝てるのか？を試す内容で、メンバーのうち2人だけがAIを参考に出来る、というものでした。2人は注文した料理の値段をAIに予想してもらい、それを参考にしながら設定金額に近づけますが、果たして結果は・・・。全員の注文が終わり、結果発表の前にAIに最下位予想してもらったところ、芸人Aが指名されました。さあ、結果発表の時間です。まずは一番設定金額に近かった第1位から・・・。なんと、1位に選ばれたのはAIを参考に注文していったメンバーの1人です。AIを参考にしたもう1人のメンバーも3位でした。そして、最下位は・・・これもまた、AIが予想した芸人Aでした。・・・AIすごっ！🤖



もちろんAIには使われている食材が市場でいくら位するのか、その食材をどのくらいの量使ったら値段はいくら位になるのか、など膨大な量のデータを覚えこませた結果です。

番組の中では写真を撮って、それを基に夏休みの絵日記を作成してくれるものがある、とあって試していました。写真を基に絵を描き、ちょっと小学生っぽい文章を作ってくれました。皆さんの夏休みの課題にした読書感想文も、「AIの使用は禁止！」といていたにもかかわらず、多くの生徒がAIを使って作成していました。ですが、同じようにAIを使って作成したのに、良い作品として選ばれたもの（AI使用発覚後、選出取り消し）と、そうでない作品があります。より多くの情報を覚え込ませたAIが作成した文章の方が、良い作品が出来た、と考えられます。

これからもっともっとAIが発達し、色んなことが労力を使わず出来るようになる時代が来ると思いますが、より高度なもの、より正確なものを作り出すためにはAIに覚えさせるデータを正しく大量に取捨選択しなければなりません。そしてそれをするのはAIではなく、人間（自分自身）です。AIをうまく活用するためにも正しい情報を見極め、収集する力を身に付ける必要があるかもしれませんね。



読書感想文 校内選考結果

1、2年次生に夏休みの課題として読書感想文を提出していただきました。その中で、良かった作品を選出し、コンクールに応募しました。選ばれた人は下記のとおりです。

第71回青少年読書感想文コンクール播磨西高校支部

学年・クラス 名前 「タイトル」 (書名：著者名)

1-1 沖元総太 「世界はいろんな色でできている」

(ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー：ブレイディみかこ)

1-1 仁木貴智 「カフカの変身を読んで感じたこと」 (変身：フランツ・カフカ)

1-3 福島彩夏 「動物のエッセイ本から学ぶ、疑問を解決する大切さ」

(鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。：川上和人)

1-4 小林俊太 「残された人の思い」

(桜、ななたび 鹿屋海軍特攻基地わだつみのふるさと：高橋みゆき)

以上4名

※ なお、仁木貴智さんの作品は上記コンクールで佳作に選ばれました。

公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会 第45回全国高校生読書体験記コンクール

1-2 山口柚貴 「僕はどう生きたいのか」 (君たちはどう生きるか：吉野源三郎)

2-3 山本創士郎 「小さな努力が夢を実現する」

(覚悟の磨き方・超訳 吉田松陰：池田貴将)

以上2名

皆さんの読書感想文を読んでみて思ったこと



選ばれた作品は比較的良く出来ていると感じましたが、それでも誤字・脱字がたくさん見受けられました。私自身にも言えることですが、最近では手書きで文字を書くことが減り、漢字も機械が自動で変換してくれるので自分で考えることが少なくなりました。そのせいか、いざ漢字の問題を解くと、学生時代に比べ、全然書けなくなっています。それでも、読みの問題はわりと解けるので、これはやはり小説など本を読んでいるおかげかな、と思っています。何でもかんでもAIや機械がやってくれる便利な時代ですが、やはり「自分の頭で考える」ことは大切なことだと思います。「考える」行為は脳を活性化し、色んな思考を導く大切な行為だと思うので、機械に頼りすぎず自分の脳を使う習慣をつけましょう。

